

祝！100号

ねりいた

練板ベー通信

2010年10月18日 vol.100

練馬板橋ベーゴマの会

作：夕陽のヤスジ



また来た、初登場初優勝タツヤ!

100号記念は小3が主役ダッての

ついに練板ベー通信が100号を迎えた。思えば2002年4月に発足し足掛け九年、毎回数々のドラマが繰り広げられてきたが、初登場初優勝も見逃せない。Mr.高橋、ミラクル澤村、六角デビルなど、その衝撃デビューに瞠目したものだ。そして10月11日(祝)新たな歴史が幕を開けた。

銀杏がたわわに実り、板橋平和公園は秋の陽光でいっぱいだ。異種格闘技戦は第二回目を迎えた。赤中、ペチャ、角六の3種類を使うから、ベテランが有利のはずだが、そうは問屋がおろさない。スペイン後藤を除き全員討ち死にとは、いったいどうしたというのだ。これじゃ練板の名がすたるってもんだぜい。

予選トップ通過はナオキ、決勝の常連だ。次いで初登場のタツヤ小出、どちらもたても園で腕を磨くワンパク共だ。続いてつぐみ、スペイン後藤、ケイタ、アキヒロ、マッチ吾野、ダーリン立川の8名による決勝トーナメントだ。おやおや、いつもの顔が見えないぞ。夢宙人田口も松ちゃんも北馬中郎も伊佐Pもマックスも上げてたらキリがない、みんなみんな予選落ちだ。恐ろしいことになってきたぞ。

それにしてもタツヤが強い。まずはマッチを一蹴すると、準決勝ではアキヒロを逆転で破ったつぐみちゃんも弾き飛ばし、難なく決勝戦進出だ。これでまだ小学3年というんだから驚いた。ベテランも負けてははられないと、スペイン後藤がケイタを破り、ダーリンがナオキを退ける。両者の一騎打ちはダーリンに軍配が上がり、初タイトルが目前となる。多少は年の功も見せないかね。

ところが、ここでもタツヤが圧倒する。いきなり決めてダーリンの出鼻をくじくと、会場はやんやの喝采だ。何とかしたいダーリンが意地の一発でタイに持ち込むが、タツヤはスペイン後藤ばりの構えで堂々たるものだ。時おり見せる笑顔はあどけないが、動揺など微塵もない。落ち着き払って2勝目を挙げると、ここでまた余裕の笑みだ。追い込まれたダーリンには逆に焦りの色が浮かぶ。そこを逃さずタツヤがリキを入れると、哀れダーリンベーは床の外、木っ端微塵に砕け散った。子どもの初登場初優勝は2004年3月、当時小学2年生だった澤村くん以来だ。その驚きは今でも新鮮だが、ここで新たな歴史がNIBに加わった。どこまで行くのかタツヤ旋風、夕焼けがタツヤの横顔に淡く残った。



タツヤ小出、つぐみちゃん おめでとう!



子ども王はタツヤ、女流はつぐみ

圧倒的な強さで優勝したタツヤがもちろん子ども王だ。しかも、名人戦決勝トーナメントのシード権付きだ。後藤さんからもらった特性キーホルダーを手に、新チャンピオンははにかんだ笑顔でこたえた。女流王はまたしてもつぐみだ。グラチャン以来、その凄さはやる度に増してくる。誰がつぐみちゃんを越えるのか。



名人戦は夢宙人田口が 予選を勝ち抜く

第十期名人戦の予選が終了した。トップはアベレージ 3.32 で夢宙人田口だ。これでハルクの待つ決勝三つ巴戦にシードされた。2位はケイタ、アベレージ 3.26 は立派だ。伊佐Pから8点、野村パパからの7点が効いた。3位六角デビルを含め12名による決勝トーナメントが次回行われる。その優勝者が決勝三つ巴戦の挑戦権を得るわけだ。名人戦ファイナルに乞うご期待。

ガチほんこ戦は 夢宙人田口が総取り

会員からの要望で恒例となりそうなガチほんこ戦。マジなガチンコ勝負に、有志28人は熱く燃えた。今回の優勝者は夢宙人田口。決勝の相手が永遠のライバル松ちゃんと来れば燃えないわけにはいかない。一発勝負にける男の執念がぶつかりあった。来月もやるぜよ。



祝！ベー通信100号、みなさまのお陰です

ベー通信愛読者のみなさま、夕陽のヤスジです。いつも筆者の駄文にお付き合いくださりありがとうございます。創刊号以来、筆者の勝手な言い分をつらつら書き連ねてまいりましたが、お陰様で100号を迎えることができました。これもひとえに、毎月遊びに来られる会員のみなさまのご参加があつてのことと、深く感謝しております。記念といたしまして、100号記念誌を発行いたします。幻の創刊号から100号までを一挙に公開、懐かしい顔から新しい顔まで、足踏け9年の日々をみなさまとともに辿りたいと思います。ただいま発刊に向けて準備中ですので、どうぞお楽しみに～。